



発行所 魚津市田方町80番地 魚津市役所 編集発行人 清河七良 (毎月1日・15日) 魚津市下村木町 中越印刷魚津工場

かかろゆく魚津

其の五 水道関係

市制施行以来の大事業の一つに上水道事業が挙げられます。しかも公営企業的性格を有するものの最初の事業でもありましよう。

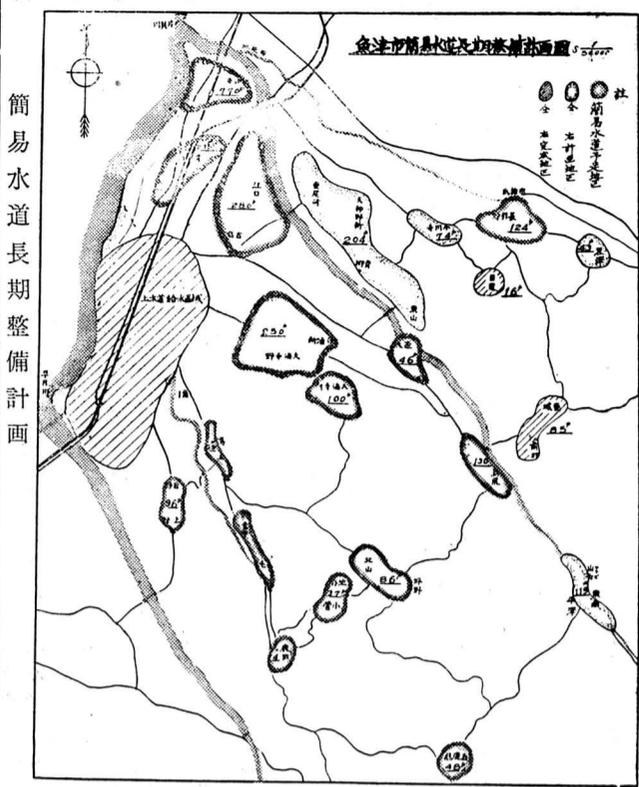
本市上水道事業は、合併後の昭和二十七年工費約一億五千七百餘万円、三ヶ年計画のもとに事業認可を受け、水源調査が開始され、翌二十八年二月工事が着工されました。その後三年、現在は給水戸数二、二〇〇戸市街地の大半の給水を終え、本年をもって一応完成をみまできになり、又山間東城、日尾部落には簡易水道が布設され、他の山間部にも簡易水道の布設が計画されています。

しかも給水には必然的に排水が伴い、排水の処理が下水道という事になるが今後下水道、ガス、交通と云う所謂市で経営する事業が進められて行く事と考えられます。

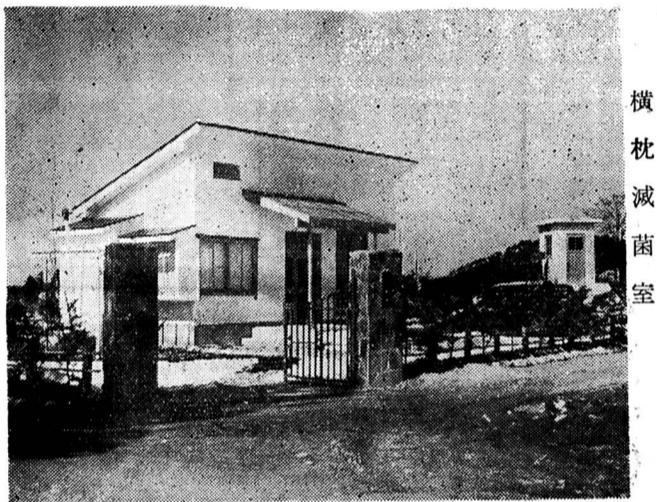
本年度完成を 目ざす上水道事業

上水道事業は、昭和二十七年に事業の認可を受け、七月一日の大雨害によつて燃えあがる復興の熱意と、大魚津市建設の意図のもとに八月水源の調査に着手しました。合併後の広範な給水区域を

対象として、片貝川上流の道坂に伏流水を求め、その意図に協力を惜しまれず決定し、翌二十八年二月に残雪を踏んで水源工事が着手されました。その後一ヶ月で六千メートル及び管の布設が行われ、十二月十三日には市街地の一部へ給水が開路として、大きく交通に便したの進捗を見た要因には地元用地関係者の大きな協力を挙げられます。市建設の意図に協力を惜しまれず決定し、翌二十八年二月に残雪を踏んで水源工事が着手されました。その後一ヶ月で六千メートル及び管の布設が行われ、十二月十三日には市街地の一部へ給水が開路として、大きく交通に便したの進捗を見た要因には地元用地関係者の大きな協力を挙げられます。



簡易水道長期整備計画



横枕減菌室

市街地から農村へ 広範囲な給水計画

市街地の現在の配管状態及び今後の計画は下図を参照して下さい。本年は旧天神村地区へ上水道の水が送られる事になります。

二十九及び三十年の二年は専ら市街地の配管布設が行われ、既に市街地配水管の八〇％は完成を見て片貝川、道坂水源の水は市内を通り、角川左岸の住吉を経て慶野地区迄逆流して、給水されている現状であります。この間それ程の道路をいたため、大変な不便をかけたのであります。幸い皆様の御協力を得て無事な進捗を見ましたこと、本事業の公共性を認識下さつたものと感謝して、配水管は、大は内径四百五、五三〇、更に延長二五、五三〇、更に細い補助管は五、三〇〇米と道坂からの導水管を合わせて約三四、一〇〇米に達しました。此の間設置された消火栓の数は更に一五七個所の多くにのぼり、其の水圧は大抵三キロから五キロの圧力を持ち、何時でも放水に備えています。市民の皆様は、万一の為に雪や凍結からこれを守り心ない人の破損や悪戯を防止して、完全な維持に協力下さる御願つて止みません。無断でバルブをいじられる事は、管理者の一番心を痛める所です。上水道は起債の關係にもありますが、本年或は来年を以て、一応当初計画の上水道事業は完成を見ます。

は着々と我が市にも其の歩を進めて来た訳です。遠い道を歩き、暗い燈火のもとに其の目をこし伝染病におびえ、無駄な労力をついやして、年を経て来た過去は余りにも大きな努力の負担であり、酷使であつたと考えられます。

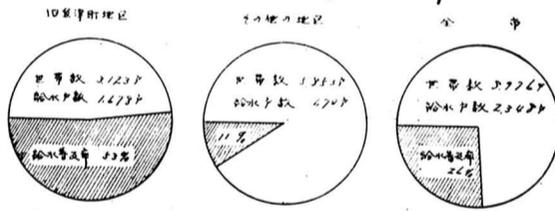
将来は 下水道事業

都市の衛生環境を良くするのには、先づ飲料水の改善が第一に行われますが、下水が完備されないと、折角飲料水を改善しても、衛生的な都市にはなりません。排水の悪いところに給水を行うことは、却つて困難や不便を伴う結果となり折角の給水も十分に利用が出来ないことになります。

このように、水が衛生上よくないとか、不便な地域における水道の普及を図つて、公衆衛生の向上と、公共の福祉を増進するため国では昭和二十七年に布設方針を確立し、厚生省や県で補助金を出してあります。財政多難な折でもあり一段の進歩発達を図るため昨年全国的な動きに発展して、簡易水道団体が結成されました。本県でも町村部を主体として富山県簡易水道協議会の設立をみた次第で企業性を使命とする上水道事業とは、自ら性格が異つており、二〇〇人以上五〇〇人以下の地区については、簡易水道を布設する方針であります。布設に要する工費は、国及び県の補助金と政府資金の借入れを受けられますが、工費の大半は地元受益者の皆様に負担して戴かねばならないことになりますので、布設希望地区民の熱意と協力が本事業促進の要素となる訳です。市でも負担の軽減に努めますが、大体一戸当たり二万五千円〜三万円見当の負担になる所が多いようです。

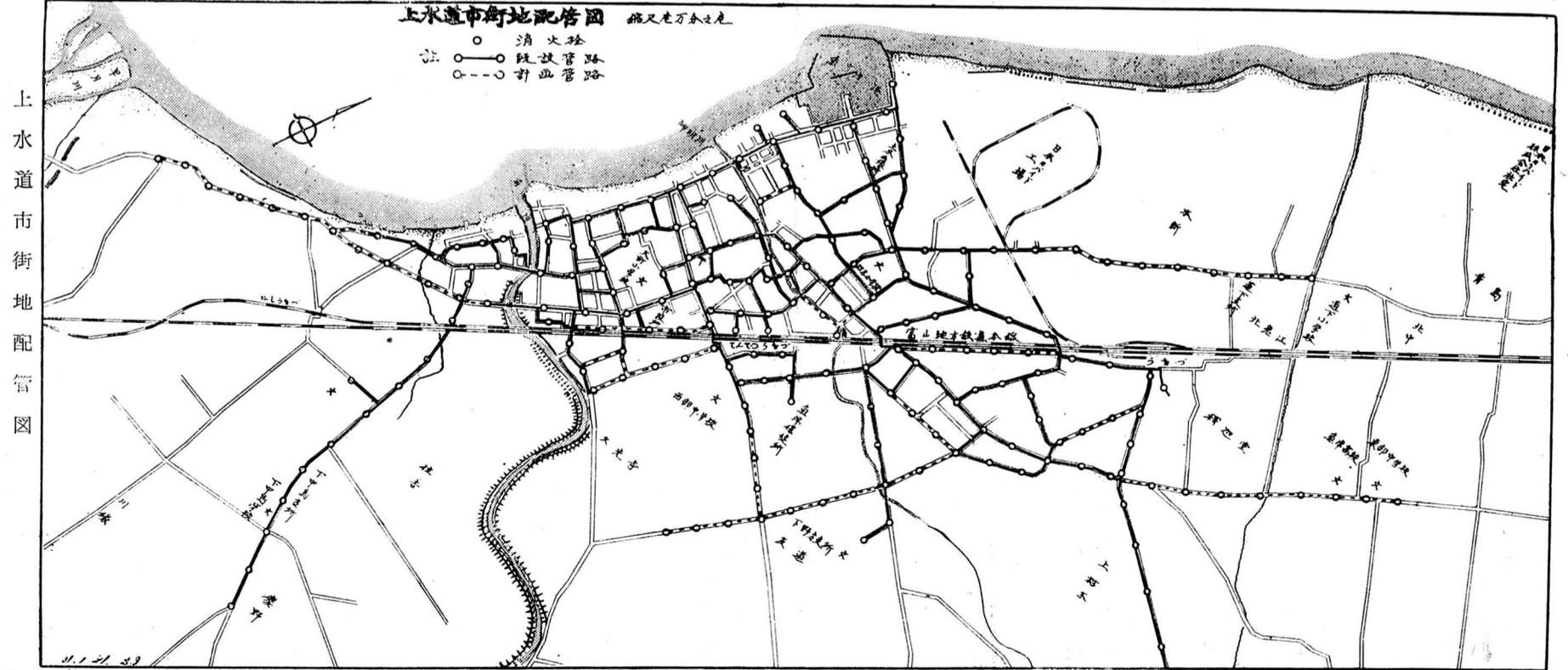
将来は下図の地区に布設を要するものと考えて計画を樹て、一日も早く地元民の要望にに応えたいと念願しております。

昭和31年1月現在水道給水管及年



簡易水道

簡易水道というものが、三、四年盛んに口の端にのぼるようになります。この簡易水道という言葉は、誤解を招き易いのですが、管から単に水が出るというふうなものであつてはならないので、一口に言えば、小規模な上水道といつた方が適切でしょう。当市においても、昭和十九年に、はじめて東城及び日尾地区に布設しました。三十年度は天神地区にも布設することに決定をみて目下工事に着手してありますので、速からず給水で



上水道市街地配管図

